

こども環境学会 2008 年大会（東海）概要報告

こどものまなざしで

ゆめちょうだい いっしょにころんで いじめないで

開催概要

開催日：2008年4月25日（金）～4月27日（日）

会場：4月25日（金） 愛知国際児童館
4月26日（土）～27日（日） 名古屋工業大学

共催：名古屋市、愛知県医師会、東海病院管理学会、愛知公園協会

後援：内閣府、国土交通省、文部科学省、厚生労働省、環境省、国連地域開発センター、日本ユネスコ協会連盟、日本ユニセフ協会、日本建築家協会、都市計画コンサルタント協会、日本小児保健協会、日本公園緑地協会、公園緑地管理財団、都市緑化基金、都市緑化技術開発機構、全国建設室内工業協会、日本造園建設協会、日本公園施設協会、日本学術会議、日本建築学会、日本都市計画学会、日本造園学会、人間・環境学会、国際交通安全学会、日本安全教育学会、日本体育学会、日本保育学会、日本発達心理学会、日本環境教育学会、日本子ども社会学会、IPA 日本支部、日本子ども NPO センター、愛知県、岐阜県、安城市教育委員会、犬山市、可児市、瀬戸市教育委員会、高浜市、高浜市教育委員会、多治見市、豊明市、豊明市教育委員会、豊田市教育委員会、中津川市、中津川市教育委員会、浜松市、美濃市、長久手町、愛知県私立保育園連盟、名古屋民間保育園連盟、伊勢新聞社、岐阜新聞、岐阜放送、静岡新聞社、静岡放送、中日新聞社、読売新聞社、NHK 名古屋放送局（順不同）

賛助協賛企業団体数：42社

参加者数：約500人（2会場の延べ人数）

市民公開シンポジウムおよびワークショップ（4月25日）

参加者数：130人

名古屋工業大会会場（4月26日～27日）

参加者数：約370人〔会員：134人、学生43人、名古屋市民、47人、名古屋市民以外33人、参加費免除15人、共催・後援・賛助会員・展示共催における招待者：約60名、講演者：37名〕

第1日（4月25日）愛知国際児童館会場

開会宣言

挨拶：松本直司（大会実行委員長）、仙田満（本会会長）、塚本孝保（名古屋市長）、祝辞：小島通（愛知県健康福祉部長）



S1 市民公開シンポジウム「お医者さんへは、早く、上手にいてね」（愛知県医師会、東海病院管理学会共催）

S2 市民公開シンポジウム「こどもと色彩 色から見える心」見学会「愛知県児童総合センター」

シンポジウム終了後、愛知県児童総合センターの見学会を行った。

第1日（4月25日）名古屋工業大会会場

W1 市民公開学生ワークショップ「こどもの遊びと環境」

大学生を中心に日本、中国、韓国、ブラジルの遊びを通じて、こどもの遊びと環境について活発な議論が交わされた。



第2日（4月26日）名古屋工業大会会場

開会式・基調講演

仙田満（放送大学教授：本会会長）「こども環境学会大会基調講演・こどもの成長の場とは：こどもが元気に育つ社会環境をめざして」

松本直司（名古屋工業大学大学院・ながれ領域教授：大会実行委員長）「こどもの空間研究を通して こども達・夢を」



K1【国際シンポジウム】「こどもの成長の場とは こどもの遊びと安全な生活環境を考える」

織田正昭（本会副会長）と木下勇（本会理事）の進行で、ティム・ギル（英）、カレン・マロン（豪）、汐見稔幸（本会副会長）らより、こどもたちの自発的な活動を保証する環境のあり方が議論された。

S3 シンポジウム「プレイフル・サンドアートと親子」

P1 パネルディスカッション「こどもと安全 日常的な危険や災害に対応する力」

W2 ワークショップ「こどもを取り巻く環境変化とこども条例」



総会

学会賞発表、2007年度事業報告、2007年度決算報告、2007年度役員就任ならびに学会規約改定、2008年度事業計画、2008年度予算計画が報告・提案され、承認された。

懇親会

名古屋工業大学校友会館で行われ、名古屋工業大学松井信行学長より挨拶。校友会館には美濃市、名古屋工業大学石松研究室と松本研究室の協力により「あかりアート」（美濃市提供）が展示された。



第3日（4月27日）名古屋工業大会会場

こども環境学会賞受賞者 記念講演会

論文賞2件、デザイン賞2件、活動賞2件の受賞者による講演会。
論文賞：塩川寿平（大地教育研究所所長）『大地保育環境論』、高橋鷹志（東京大学名誉教授）『子どもを育てるたてもの学』。
デザイン賞：手塚貴晴、手塚由比（手塚建築研究所）『ふじょうちえん』、藤木隆男（藤木隆男建築研究所）、地域小規模児童擁護施設『樫（もみ）の舎（いえ）』。
活動賞：早川隆志（NPO 法人 富山・イタズラ村・子ども遊ばせ隊）『子どもイタズラ村からNPO 法人「子ども遊ばせ隊」の創設 遊びと農的体験を融合した21世紀型子育て支援・次世代育成事業』、榎英子（東横学園女子短期大学）『生涯学習サークル・アトリエたんぼの27年 アート活動による子育て支援の継続』。
論文賞、デザイン賞、活動賞ならびにデザイン奨励賞、活動奨励賞は大会開催中にパネル展示を行った。
デザイン奨励賞：遠藤幹子、廣羽裕紀（officemikiko 一級建築士事務所）『Art - Loop 彫刻の森美術館・アートと遊びの融合空間』。
活動奨励賞：草野裕作（伊座利の未来を考える推進協議会）『地域と学校は一つ：学校の灯火を消すな！を合言葉に漁村留学制度を導入』、田嶋茂典（愛知県児童総合センター）『愛知県児童総合センター「あそび」の活動 1996-2007』



S4 シンポジウム「こどもの心にぼっと希望の光をともし工夫
思いやり・共感性をいかに育むか」
K2【国際会議】パネルディスカッション「世界の子どもたち・
日本での生活」
P2 パネルディスカッション「こどもの建築・まち学習」



閉会式

各分科会からの報告/総括 大会宣言

大会開催中の合計10分科会〔国際会議(2)、シンポジウム(4)、パネルディスカッション(2)、ワークショップ(2)〕ごとに大会提言に向けて座長の報告を整理した。全般的な総括を下記にまとめる。分科会・講演会のタイトルならびにサブタイトルをキーワードとして、再確認した上で社会事象を1)法律・経済、2)科学・技術、3)教育・倫理の視点からこども環境を解釈すべきである。こどもは社会事象のなかを生き抜き、成熟していくものである。まずは、大人が成熟して、きちっと約束を守ることが必要である。大会テーマ「こどものまなざし」を考えると、「おとなのまなざし」であり、おとなが約束を守れているかを自問することであり、これをなくしてこども環境の充実はいえぬ。各分科会等における結果は後日、大会宣言として発表する予定である。



ポスターセッション

ポスターセッション出展数：62点〔ポスターセッションA(学術研究 32点)、ポスターセッションB(非営利団体の活動紹介 23点)、ポスターセッションC(企業等の活動紹介 7点)〕。
ポスター表彰(優秀ポスター発表賞～審査員 23名)：杉山祐一郎、松本直司「手話者の会話空間による生活環境の提案」、桑原淳司「幼少期における遊びと生活に関わる原体験からの考察」、林宗弘「ピオトーブ「鷹見の里」から「いのちの輝き」を見つけよう」、石松文佳「環境体感型ワークショップの試み」、根岸博之、大古場稔、上村耕平、河野薫、山口佳奈子「まち」をつくらう～小学生が描く飯田橋～、山下智也「子どもの地域への浸着の在り様 日常的な子どもの遊び場「きんしやいきゃんぱす」を拠点として」。



特別展示

共催出展：名古屋市、愛知県児童総合センター(愛知公園協会)
後援出展：愛知県、可児市、多治見市、美濃市
実行委員会展示：K2【国際会議】：ワークショップ～自分の居場所-ぼく・わたしの好きな遊び場 S2：こどもの色彩～原画展示。本村+名古屋工業大学石松研究室：WANDER。美濃市：校友会館ブロムナード～あかりアート。長谷川博一、森一晃、名古屋工業大学松本研究室：校友会館前～あかりアート展示。名古屋工業大学石松研究室：校友会館前～あかりアート展示。名古屋市：こいのぼりの展示



大会提言

こどもと夢を語ろう
おとながいっしょにあそぼう
こどものまなざしと個性を尊重しよう
在日外国人のこども環境をより良くしよう
こどもが自由に遊べる環境を保障しよう
(提言全文は別紙を参照ください。)

2009年度大会(千葉)予定(実行委員長：木下勇・千葉大学教授)
4月24日(金)～26日(日)開催予定。ご期待ください。

大会実行委員会：26名

- (1)実行委員長 松本直司(名古屋工業大学大学院・教授)
- (2)総括幹事 青木一郎(名古屋工業大学大学院・DC)、Ahmed Mansouri(名古屋工業大学大学院・DC)
- (3)総務部会 部会長 矢田 努(愛知産業大学大学院・教授) 幹事 高木清江(愛知産業大学・講師)
- (4)会場部会 部会長 鈴木賢一(名古屋市立大学・教授)、幹事 櫻木耕史(稲沢市役所建設部都市計画課)、牧野彰賢(大の木保育園・園長)、杉山祐一郎(名古屋工業大学大学院・DC)、ソヘミン(名古屋工業大学大学院・MC)、姜 延達(名古屋工業大学大学院・MC)
- (5)分科会・講演部会 部会長 宮治 真(名古屋市立大学病院・愛知県医師会)、幹事 加藤 憲(愛知県医師会総合政策研究機構主席研究員)、幹事 高井智代(株式会社 INAX 総合技術研究所空間技術開発室)、小林三太郎(愛知淑徳大学・講師)、島田隆道(愛知医療学院短期大学)、柄澤克彦(名古屋市青少年局子ども育成部子ども育成課係長)、寺本 潔(愛知教育大学・教授)、舟橋 厚(愛知県コロナー発達障害研究所・室長)、吉田順子(有限会社エコ・プランニング・代表)、吉田真澄(有限会社エコ・プランニング)
- (6)本部対応部会 部会長 建部謙治(愛知工業大学・教授)、矢田 努(兼務)、田中 賢(日本福祉大学情報社会科学部・准教授)
- (7)広報・記録部会 部会長 藤田大輔(岐阜工業高等専門学校・講師)、幹事 北川啓介(名古屋工業大学大学院・准教授)、青木一実(フリー)、呉 明宣(名古屋工業大学大学院・DC)

大会ボランティア協力：57名

愛知工業大学、椋山女学園大学、名古屋工業大学、名古屋市立大学、日本福祉大学の各研究室

こども環境学会 2008年大会(東海)実行委員会

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
名古屋工業大学大学院ながれ領域松本直司研究室
TEL052-735-5510 FAX052-735-5569
実行委員長 松本直司 総括幹事、青木一郎(概要報告書作成)

こども環境学会 事務局

〒261-8586 千葉市美浜区若葉 2-11 放送大学仙田満研究室
TEL & FAX. 043-298-4118
URL: <http://www.children-environment.org>
E-mail: info@children-environment.org
事務局長 中山豊